

令和7年度 家庭・地域・学校が連携した安全・防災教育構想

松枝小学校

ねらい：子供たちの命を守りきるために、地域・家庭・学校が連携して、安全な環境を整え
るとともに「自分の命は自分で守ることができる児童」を育てる。

地域・家庭・学校で、子供たちの命を守りきる

「地域」で見届ける（教える）

- ・「ドライバーさんの目を見たか？」
- ・「止まってくれた人にきちんとお礼しよう。」
- ・「班長さん、旗をしっかりと使って。」
- ・地域の防災活動に参加し、動き方の確認 等

「家庭」で見届ける（教える）

- ・家・地域の危険箇所や避難場所、連絡方法を家族で共有する。
- ・新しい生活様式について、家族で共有し実践する。

自分の命を自分で守る力＝危険を見立てる

「学校」できちんと教える（見届ける）

- 交通安全：横断歩道の渡り方・お礼のあいさつ
- 安全教育：水難事故防止教育・ライフジャケット体験
- 防災教育：実効性のある訓練（見立てる力）
- 健康教育：体力づくり・新しい生活様式

教える

見届ける

+

見守る

※

「備える」含む

《令和7年度主な取組》

- 4月9日
交通安全教室
- 4月11日
下校指導（お礼の会釈）
- 4月24日
連れ去り防止教室
- 4月・7月・10月・1月
命を守る訓練
（避難経路・垂直避難・不審者）
- 5月2日
引渡・引受訓練
- 7月
ネットの使い方指導
着衣水泳・水難救助教室
ライフジャケット体験
- 8月
木曽川下り（川遊び・ライフジャケット）

実効性のある安全指導と安全な環境づくり

見守り活動・安全環境整備（管理・施設・備蓄等）・命を守る訓練（職員の指導力向上）
避難所設営図上訓練（非常時対応）・通学路の安全点検と子ども110番の確認 等